

# 年頭のあいさつ

コロナ禍を乗り越え  
「さらなる選ばれるまち」へ

市長 奥ノ木 信夫



新年明けましておめでとうございませう。市民の皆様には、令和3年の清々しい新春を健やかに迎えのことと心からお慶びを申し上げます。

昨年、川口は「本場に住みやすい街大賞2020」の1位に選ばれ、希望に満ちあふれた1年となることが期待されましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的流行が日常を一変させてしまいました。

これに対し本市では、中核市移行に伴い設置した市保健所を中心に、感染者等への適切な対応に努め、PCR検査センターの開設や医療提供体制の安定のための医療機関への補助等を行うとともに、市内小規模事業者や中小企業者等への様々な独自の経済対策を行うて参りました。

そうした中で「本場に住みやすい街

大賞2021」が発表され、川口が2年連続で1位に選ばれるという大変喜ばしい出来事がありました。市民の皆様にとっても、コロナ禍の中で一筋の明るいニュースになったのではないのでしょうか。この受賞はひとえに、皆様のご理解・ご協力の賜物と、改めまして心から感謝と御礼を申し上げます。

3大プロジェクトについては、第一本庁舎が、災害に強く、環境にやさしく、誰もが利用しやすい庁舎として昨年5月に全面開庁しました。川口市立高等学校ではアリーナ棟が12月に完成し、本年からは体育の授業や部活動、式典などが広く快適な施設で実施されます。イイナパーク川口は、令和3年度に、子どもたちが自然の中で遊びながら新たな発見ができる環境学習の場である雑木林の開園を予定しています。

また、本年はいよいよ、中高一貫教育を行う川口市立高等学校附属中学校が4月に開校します。6年間を見通した計画的・継続的な教育課程や、一人ひとりの個性を伸ばす特色ある教育が展開され、近い将来、難関国公立・私立大学への進学者や様々な分野で活躍する若者が多数輩出されることを、大いに期待しています。

新型コロナウイルス感染症については、いまだ予断を許さない状況ではありますが、今後も適時適切に状況を捉え、実情に応じた様々な対応や支援策を迅速に実施して参ります。

結びに、コロナ禍が一日も早く収束し、新しい年が市民の皆様にとりまして、明るく希望あふれる飛躍の年となりますよう、心から祈念申し上げます。年頭のあいさつといたします。

ニューノーマル時代も  
選ばれ続けるまちの実現へ

議長 柳田 力



新年明けましておめでとうございませう。市民の皆様には、輝かしく希望に満ちた新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

年頭にあたり、市議会を代表いたしまして謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

昨年、世界規模で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症の対応に追われた1年でありました。そのような中、本市の長年の念願でありました第一本庁舎が完成し、6月市議会定例会から新たな議事堂において、新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの本会議等がスタートいたしました。

本会議に関わっては、6月市議会定例会において、持続可能な行政運営の

ための財政支援を求める意見書や学習の保障と心的ケアに対する支援を求める意見書のほか、9月市議会定例会では、保健所機能強化の財政支援を求める意見書等が提出・可決され、内閣総理大臣等へ送付いたしました。

また、12月市議会定例会では、分譲マンションの管理、防災・防犯体制の整備及び良好なコミュニケーション管理を図るため、「川口市マンション管理適正化推進条例」を議員提案によって制定し、これにより、本市の議員提案条例は9つ目となり、全国でも有数の政策立案能力を誇る市議会として評価されております。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の対応において、保健所を持つ中核市としての強みが多大に発揮されました

が、新年を迎えるにあたり、本市議会といたしましては、市民の皆様の期待と信頼に応えるため、議員一人ひとりがその責務を自覚するとともに、中核市「川口」として、誇りと責任を持ち、常に60万市民の目線にあわせた、各種施策を推進して参りますので、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年の干支であります「丑」は、力強さの象徴であり、粘り強さ・誠実さを表すと言われております。現下の新型コロナウイルス感染症との闘いという難局を粘り強く乗り越え、本年が市民の皆様にとりまして、明るく希望の光が芽生える素晴らしい1年となりますよう、心からお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。